

## <アスベストQ&A集>

### B 健康相談に関すること【健康関係】

(神奈川県環境課作成)

|      |   |
|------|---|
| 担当部署 | 健康医療局保健医療部がん・疾病対策課がん・循環器対策グループ<br>電話 045-210-5025 |
| B-1  | アスベストを吸引すると、どのような病気になりますか。<br>(令和6年4月1日更新)        |

#### 【答】

アスベスト粉じんを吸入することによって起こる健康影響としては、石綿肺、肺がん、悪性中皮腫（胸膜、腹膜、心膜、精巣しょう膜）、良性石綿胸水（石綿胸膜炎）、びまん性胸膜肥厚があります。

#### ① 石綿（アスベスト）肺

肺が線維化してしまう肺線維症（じん肺）という病気の一つです。肺の繊維化を起こすものとしてはアスベストのほか、粉じん、薬品等多くの原因があげられますが、アスベストのばく露によっておきた肺線維症を特に石綿肺と呼んで区別しています。

職業上アスベスト粉じんを10年以上吸入した労働者に起こるといわれており、潜伏期間は15～20年といわれています。アスベストばく露がなくなったあとでも進行することがあります。

#### ② 肺がん

アスベストが肺がんを起こすメカニズムはまだ十分に解明されていませんが、肺細胞に取り込まれたアスベスト繊維の主に物理的刺激により肺がんが発生するとされています。また、喫煙と深い関係にあることも知られています。アスベストばく露から肺がん発症までに15～40年の潜伏期間があり、ばく露量が多いほど肺がんの発生が多いことが知られています。治療法には、手術療法、放射線療法、薬物療法などがあります。

#### ③ 悪性中皮腫（あくせいちゅうひしゅ）

肺を取り囲む胸膜、肝臓や胃などの臓器を囲む腹膜、心臓及び大血管の起始部を覆う心膜、及び精巣・精巣上体を被う精巣鞘膜にできる悪性の腫瘍です。潜伏期間は20～50年といわれています。治療法には、手術療法、放射線療法、薬物療法などがあります。

#### ④ 良性石綿胸水

胸水とは胸腔内に体液が貯留することであり、石綿以外の様々な原因によっても生じます。とくに、石綿粉じんを吸入することによって、胸腔内に胸膜炎による滲出液（胸水）が生じる場合を良性石綿胸水と呼びます。

#### ⑤ びまん性胸膜肥厚

びまん性胸膜肥厚は、臓側胸膜（肺を覆う膜）の慢性炎症により繊維性に肥厚した状態であり、通常は壁側胸膜（胸壁を覆う膜）にも病変が及んで両者が癒着していることが多くみられます。胸膜プラークと異なり、びまん性胸膜肥厚は結核性胸膜炎など石綿以外の様々な原因によっても生じます。

参考 首相官邸ホームページ アスベストについてのQ&A

<http://www.kantei.go.jp/jp/asbestos/qa.html>

環境再生保全機構ホームページ

<http://www.erca.go.jp/asbestos/what/higai/shikkan.html>